

# 子どもアイデアコンテスト ワークシート

## 「アイデアイメージの絵をかこう！」編

**テーマ 「未来に“あったらいいな”と思うモノ」のアイデアを考えてみよう！**

### Step1 「未来に“あったらいいな”と思うモノ」って、どんなモノ？

「困っていること」から考えるAパターン、「楽しくなること」から考えるBパターン、どちらでもやりやすい方を選んでアイデアを考えてみよう。両方考えてもOK。

### Step2 どんなカタチにするか、具体的に考えてみよう！

Step1で考えた「“あったらいいな”と思うモノ」の形やはたらきなどを、できるだけ具体的にイメージしてみよう。

### Step3 持ちようは、どこ？

自分のアイデアのことをもっとよく知ってもらうために、“とくに見てほしい”ところなどの持ちようを書いてみよう。

### Step4 アイデアが本物になったら、どんないいことが起こるかな？

考えたアイデアが現実のモノになったら、だれ(何)にとって、どんないいことが起こるか考えてみよう。

### Step5 作品タイトルを考えよう！

形や機能、持ちようなどから作品タイトルを考えてみよう。

### Step6 いよいよ本番！ 応募用紙にアイデアイメージの絵をかこう！

Step1～3で考えたことをもとに、応募用紙に作品説明とアイデアイメージの絵をかいてみよう。  
Step4で考えた作品タイトルも忘れずに書こう。

子どもアイデアコンテストのホームページにもヒントがあるのでご覧ください

<http://www.honda.co.jp/philanthropy/ideacontest/>

(「子どもアイデアコンテスト」で検索)

～保護者・学校関係者の皆様へ～

本ワークシートは、ご応募いただく際の「ヒント」としてご用意しました。

そのため、必ずしもワークシートに沿って進めなければいけないというものではございません(ワークシート使用の有無は審査に関係することはなく、応募時にお送りいただく必要もございません)。

**Step1** 「未来に“あったらいいな”と思うモノ」って、どんなモノ？

「困っていること」から考えるAパターン、「楽しくなること」から考えるBパターン、どちらでもやりやすい方で、未来にあったらいいなと思うモノを考えてみよう。もちろん両方考えてもOKです。

**Aパターン：「困っていること」って、何？ → 解決<sup>かいけつ</sup>するには、どうしたらよい？**

身近なところや世界で起こっている“困っていること”から考えてみよう。

「困っていること」「いやなこと」「悲しいこと」「つらいこと」「大変なこと」など、気がついたことをいくつか書いてみよう。

★身近なところ…家族や近所、地域の人たちを見ていて気がついたことはありませんか。

★世界…テレビや新聞などのニュースなどを見て気がついたことはありませんか。



困っていることや悲しいことなどを解決<sup>かいけつ</sup>するには、どのようにしたらよいでしょうか。

楽しくなったり、幸せになったりするといいね。

◆考えよう：まずは自分で考えてみよう。

◆調べよう・聞いてみよう

インターネットや本などで調べたり、身近な人に話を聞いたりして気がついたこと、わかったことなどを書いてみよう。

\*\*\*\*\* 何かを調べたり、だれかに話を聞くときは、6ページの「調べてみよう！聞いてみよう！」も使ってみてね \*\*\*\*\*

**Bパターン: 「楽しくなること」って、何? →もっと楽しくするには、どうしたらよい?**

自分や身近な人、世界の人が“楽しくなること”を考えてみよう。

「楽しくなること」だけではなく、「喜ぶこと」「幸せになること」などもOK。「だれが」楽しくなるのかも書いておこう。

何かで調べたり、だれかから話を聞いたりすると、もっといろいろな発見があるかもしれません。

思いついたこと、気がついたことをいくつでも書いてみよう。

◆考えよう: まずは自分で考えてみよう。

◆調べよう・聞いてみよう

インターネットや本などで調べたり、身近な人に話を聞いたりして、気がついたこと、わかったことなどを書いてみよう。



もっと楽しくなるようにするには、どうしたらよいでしょうか。

ほかの何かと組み合わせたりするのもOK。ワクワクするような楽しくなることを考えてみよう。

## Step2 どんなカタチにするか、具体的に考えてみよう！

Step1で考えた「困っていること」を解決したり、「もっと楽しくなること」を実現するのは、どんなモノ？  
 今までにないモノで、未来にあつたらいいなと思うモノの「形」「色」「大きさ」などを具体的にイメージしてみよう。  
 わからないことがあつたら、先生や身近な人に聞いたり、インターネットや本で調べたりしてみましょう。  
 アイデアメモだから、思いついたことは、どんどん書いてね。言葉でも絵でも書きやすい方で書こう。

具体的にイメージできたかチェックしよう！  大きさ  形  色

## Step3 持ちょうは、どこ？

「ここが自まん！とくに見てほしい」「すごくがんばって考えた」「ほかのモノにはない」という部分はどこ？  
 アイデアのすごいところ、いいところを書いておこう。

## Step4 アイディアが本物になったら、どんないいことが起こるかな？

考えたアイデアが現実のモノになったら、どうなると思いますか？ “だれ(または何)”にとって、“どんな”  
 “いいこと”が起こるかな？ 考えたことを書いておこう。

\*\*\*\*\* 何かを調べたり、だれかに話を聞くときは、6ページの「調べてみよう！聞いてみよう！」も使ってみてね \*\*\*\*\*

## Step5 作品タイトルを考えよう！

形や機能、特ちょうなどから考えてみよう。聞いたときに、ハツとするような印象的なタイトルを考えてね。

## Step6 いよいよ本番！ 応ぼう紙にアイディアイメージの絵をかこう！

アイディアの絵は、専用の応ぼう紙または画用紙（B4サイズまたはハツ切）にかいてください。  
 応ぼう紙には、連らく先や作品タイトル、アイディアの説明などを書くことも忘れないでね。

### ◆ アイディアイメージの絵

### ◆ 応ぼう紙【作品タイトル】

Step2で考えた具体的なイメージの絵をかこう。

作品の説明が応ぼう紙に書ききれない場合は絵に書き込んでOK！

### ◆ 応ぼう紙【作品について】

- ①この作品は<sup>ないう</sup>どうやって思いついたのですか？ : Step1の内容をまとめてみよう
- ②この作品の<sup>とちよう</sup>特徴、いいところはどこですか？ : Step3の内容を書こう
- ③この作品が本物になったら、どんな<sup>ないう</sup>いいことがおこると思いますか？ : Step4の内容を書こう

## ふい返ってみよう

アイディアについて、「もっとこうしたかった」「こうすればよかった」と思ったところがあったら書いておこう。家族や友だち、先生などに説明して、感想をもらってもいいね。

## 調べてみよう！ 聞いてみよう！

Step1・2は、自分で考えるだけでなく、調べたり、だれかに話を聞いたりすると、もっといろいろなことがわかるよ。調べたり、インタビューしたりするときは、調べることや質問することを書いてからはじめよう。「情報源」のところには、何で調べたか、だれにインタビューしたかを書いておこう。

\*調べる…インターネット、本、新聞、など。

\*話を聞く…家族、先生、地域の人、科学館や博物館などの学芸員、など。

調べる方法などわからないことがあったら、先生や家族に聞いてみよう。

調べること・質問すること	調べたこと・聞きとったこと
	<small>じょうほうげん</small> 情報源：

「気がついたこと」や「考えたこと」、「思ったこと」があったら書いておこう。